



今月の大槌

びと

松坂 勇毅さん

(20歳・株千田精密工業)

佐々木 悠希さん

(20歳・花巻農業協同組合 大槌支店)

社会人二年目を迎え 一歩踏み込んで仕事を

お二人はそれぞれどのような仕事をされていますか？

松坂さん(以下松)—私は旋盤を使った機械加工を担当しています。小さい頃からプラモデルなどものを作るのが好きでした。

佐々木さん(以下佐)—私は保険の窓口担当で、お客さんの保険の更新の手続きなどを行っています。

社会人二年目になって、仕事面で変化はありましたか？

松—一年目は覚えることが多くて大変でしたが、先輩の仕事を見たり教えられたりして、二年目は応用して一歩踏み込んだ仕事をする意識を持つ余裕ができました。

佐—職場に溶け込めてきた

事と、事務の知識が増えたことで、事前に準備をしてお客さんを待たせない事を考えるようになりました。

地元に残った人間として 地域の発展に貢献したい

成人式を終えて、感じていることは何ですか？

松—スライドショーの作成を担当して、色々大変でしたが、最後に「楽しかった」「本場に助かった」と友達から言われて、やって良かったと思えました。作成には実行委員以外の友達も手伝ってくれて、すごく感謝しています。

佐—節目を迎えて、これからお酒の付き合いなど、人と知り合う機会が益々増えると思うので、そういう機会を大切にしていきたいです。

これからやりたい事や目標などは何ですか？

松—成人式で、町外に出た友達と話して、自分も頑張ろうと思えたり、大槌が良い町だと再確認できました。地元に残った人間として、地域の発展に貢献できる事をしたいです。

佐—私は人と話したり、顔を覚えたりするのが好きで、今の仕事に生かせることだと思っています。これからも笑顔の接客を心がけて、信頼されるよう頑張りたいです。そして、先輩方のようにお客さんから「今日は佐々木さんいないの?」と頼られるような職員を目指していきたいです。



1月号 道又 譲さん
2月号 佐々木 悠希さん

前号と今号の大槌びとが対談するコーナーです。様々な分野で活躍する大槌びとの皆さんが、誌面の上で出会います。「たし算」ではなく、「かけ算」の絆が、また新たな大槌を創っていきます。

道又さん(以下道)—成人おめでとうございます。前回の高校生との対談に続いて、20歳と若い方ですが、学生の時と社会人で違いを感じる事は何ですか？

佐々木さん(以下佐)—仕事をできるようになって、責任感が変わってきました。体調管理などには、学生の頃よりも気をつける様になりました。あとは年齢も様々なお客さんを相手にするので、話題や知識を豊富にするためのアドバイスを頂きたいです。

道—話していて、もうできていると感じましたが、色んな人と会ってたくさん話を聞くことですかね。それが一番勉強になると思います。人を観察するのも好きと言っていたので、続けていくといいと思います。

佐—はい。今回のように違う分野の方のお話を聞けるのも貴重な機会なので、大事にしたいです。こういうつながりの中で、仕事の経験を生かした特産物の料理教室などを地域で実現出来たらと思っています。

道—素晴らしい。ぜひ声をかけて下さい。実は私も農業に少し興味を持っています。

佐—始める時は言ってお下さい！指導を受けられる制度もあります。

道—はい、その時はぜひ相談させていただきます！

